



2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月1日

上場会社名 フロイント産業株式会社
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 若井 正雄
 四半期報告書提出予定日 2019年10月1日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

上場取引所 東
 TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	6,817	25.2	3	99.4	6	99.1	7	
2019年2月期第2四半期	9,117	6.9	592	44.8	684	37.3	466	36.5

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 108百万円 (%) 2019年2月期第2四半期 526百万円 (23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	0.46	
2019年2月期第2四半期	27.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	17,713	12,807	72.3	764.87
2019年2月期	17,448	13,250	75.9	791.34

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 12,807百万円 2019年2月期 13,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		20.00	20.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	4.9	1,000	18.2	1,000	24.6	700	17.0	41.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ(4)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年2月期2Q	18,400,000 株	2019年2月期	18,400,000 株
2020年2月期2Q	1,655,480 株	2019年2月期	1,655,480 株
2020年2月期2Q	16,744,520 株	2019年2月期2Q	16,896,696 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	13
受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国向けを中心とした輸出の鈍化による製造業の不振の一方で、底堅い内需を背景とした非製造業の企業収益や、雇用・所得環境は堅調さを維持し、全体として緩やかな成長が続きました。

一方、世界経済は、米中通商摩擦や英国のEU離脱問題等が混迷を深めております。こうしたマクロ経済の不確実性が世界経済に大きな影響を与えており、今後、より想定を超えた経済の減速や金融市場の動揺、企業設備投資の抑制、個人消費の低迷をもたらすなど、わが国経済を下押しする可能性があり、予断を許さない状況にあります。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などへの構造変革の対応に迫られております。

このような事業環境のもと、当社グループは、第7次中期経営計画(2018年2月期～2022年2月期)の3年目を迎え、中期計画後半の計画達成のための施策を強力に推進しております。

当期(2019年3月1日～2020年2月29日)の具体的な課題として、

- ①アジア諸国(インド・中国)、米国および南米諸国、欧州での営業体制強化
- ②グローバル戦略製品の開発、グローバルサプライチェーンの構築
- ③医薬品添加剤の生産体制整備
- ④オープンイノベーションをベースとした産学との連携強化
- ⑤技術交流などを通じた人財育成

などに取り組み、将来の業容拡大に向けた経営基盤を整備しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は68億17百万円(前年同期比25.2%減)、営業利益は3百万円(同99.4%減)、経常利益は6百万円(同99.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は7百万円(前年同期は4億66百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、フロイント・ターボ社、FREUND-VECTOR社を含め、グループ全体として装置の納入時期が下期に偏重しており、上期においては固定費を吸収できず、セグメント損失計上を余儀なくされました。

この結果、売上高は39億64百万円(同35.5%減)、セグメント損失は1億19百万円(前年同期は2億91百万円のセグメント利益)となりました。

・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、国内は堅調に推移した一方で、海外大口ユーザーの生産調整の影響により、売上高、営業利益ともに減少となりました。

食品品質保持剤は、海外市場の開拓にも取り組むなど積極的な営業展開を図りましたが、競争激化のなか、売上高、営業利益ともに減少となりました。

この結果、売上高は28億52百万円(同4.0%減)、セグメント利益は3億82百万円(同31.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を遡って適用した結果、前連結会計年度末の総資産額及び負債の合計は、それぞれ17百万円減少しております。

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億65百万円増加し、177億13百万円となりました。増減の主な要因は、現金及び預金が5億3百万円、受取手形及び売掛金が6億65百万円減少したものの、電子記録債権が1億33百万円、商品及び製品が1億11百万円、仕掛品が8億61百万円、機械装置及び運搬具等を含む有形固定資産のその他(純額)が2億57百万円増加したことによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億8百万円増加し、49億6百万円となりました。この主な要因は、前受金が7億57百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億43百万円減少し、128億7百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が3億42百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ5億3百万円減少(前年同期は13億22百万円の減少)し、50億30百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は2億89百万円(前年同期は2億30百万円の減少)となりました。これは、たな卸資産の増加10億28百万円、法人税等の支払額1億32百万円等の減少要因があったものの、前受金の増加7億83百万円、売上債権の減少5億13百万円、仕入債務の増加1億70百万円、減価償却費1億77百万円等の増加要因によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は4億14百万円(前年同期は1億90百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億40百万円等の減少要因によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は3億59百万円(前年同期は9億18百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払3億32百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2019年4月9日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,534,431	5,030,580
受取手形及び売掛金	4,172,348	3,506,653
電子記録債権	160,222	293,449
商品及び製品	414,397	526,368
仕掛品	1,053,685	1,915,678
原材料及び貯蔵品	1,007,294	1,005,761
前払費用	138,074	140,346
その他	239,599	308,227
貸倒引当金	△8,869	△5,323
流動資産合計	12,711,184	12,721,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,162,954	1,134,076
土地	1,239,674	1,238,858
その他（純額）	1,366,441	1,624,377
有形固定資産合計	3,769,070	3,997,312
無形固定資産		
その他	16,349	16,516
無形固定資産合計	16,349	16,516
投資その他の資産		
繰延税金資産	160,556	205,947
その他	796,334	777,655
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	951,491	978,203
固定資産合計	4,736,911	4,992,032
資産合計	17,448,096	17,713,776
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,587,769	1,295,590
電子記録債務	582,051	1,055,251
未払法人税等	151,746	97,816
前受金	666,802	1,424,429
賞与引当金	212,735	181,547
役員賞与引当金	30,000	4,000
その他	707,653	609,658
流動負債合計	3,938,759	4,668,293
固定負債		
退職給付に係る負債	162,460	167,264
資産除去債務	35,131	35,209
その他	61,092	35,668
固定負債合計	258,685	238,142
負債合計	4,197,445	4,906,436

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,918,177	11,575,538
自己株式	△773,363	△773,363
株主資本合計	13,469,928	13,127,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,459	19,836
為替換算調整勘定	△265,653	△350,135
退職給付に係る調整累計額	10,917	10,349
その他の包括利益累計額合計	△219,276	△319,949
純資産合計	13,250,651	12,807,340
負債純資産合計	17,448,096	17,713,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	9,117,076	6,817,515
売上原価	6,100,966	4,400,935
売上総利益	3,016,110	2,416,580
販売費及び一般管理費	2,423,288	2,413,308
営業利益	592,821	3,271
営業外収益		
受取利息	2,006	3,406
受取配当金	63,066	6,144
受取技術料	3,673	3,154
為替差益	4,106	—
その他	19,689	7,201
営業外収益合計	92,542	19,907
営業外費用		
支払利息	562	151
為替差損	—	16,276
その他	524	630
営業外費用合計	1,086	17,058
経常利益	684,277	6,120
特別利益		
固定資産売却益	—	9,997
投資有価証券売却益	—	2,200
投資有価証券償還益	23,874	—
特別利益合計	23,874	12,197
特別損失		
減損損失	—	203
固定資産除却損	2,184	210
投資有価証券評価損	—	750
特別損失合計	2,184	1,163
税金等調整前四半期純利益	705,967	17,154
法人税等	239,663	24,896
四半期純利益又は四半期純損失(△)	466,303	△7,741
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	466,303	△7,741

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	466,303	△7,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,465	△15,622
為替換算調整勘定	68,780	△84,482
退職給付に係る調整額	1,317	△568
その他の包括利益合計	60,633	△100,672
四半期包括利益	526,936	△108,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	526,936	△108,414

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	705,967	17,154
減価償却費	162,695	177,037
減損損失	—	203
のれん償却額	12,013	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△3,276
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,387	△31,021
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36,300	△26,000
受取利息及び受取配当金	△65,073	△9,550
支払利息	562	151
為替差損益 (△は益)	△4,495	15,715
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△9,997
有形固定資産除却損	2,184	210
投資有価証券償還損益 (△は益)	△23,874	—
売上債権の増減額 (△は増加)	91,182	513,823
たな卸資産の増減額 (△は増加)	338,514	△1,028,562
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,200
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	750
保険解約損益 (△は益)	—	321
その他の資産の増減額 (△は増加)	76,844	△78,116
仕入債務の増減額 (△は減少)	△724,487	170,886
前受金の増減額 (△は減少)	△573,452	783,652
その他の負債の増減額 (△は減少)	54,696	△97,763
その他	△8,235	78
小計	17,129	393,494
利息及び配当金の受取額	65,073	9,550
利息の支払額	△562	△151
保険金の受取額	8,312	—
法人税等の還付額	12,888	19,469
法人税等の支払額	△332,932	△132,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	△230,091	289,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△205,257	△440,928
有形固定資産の売却による収入	—	17,926
有形固定資産の除却による支出	—	△201
無形固定資産の取得による支出	△3,162	△3,000
投資有価証券の取得による支出	△3,162	△1,143
投資有価証券の売却による収入	—	4,200
投資有価証券の償還による収入	23,874	—
保険積立金の積立による支出	△2,913	—
保険積立金の解約による収入	—	9,661
差入保証金の差入による支出	△570	△1,449
差入保証金の回収による収入	618	147
出資金の回収による収入	10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,562	△414,788

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得 による支出	—	△25,398
リース債務の返済による支出	△3,217	△1,820
配当金の支払額	△343,457	△332,440
自己株式の取得による支出	△572,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△918,675	△359,658
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,059	△19,202
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,322,269	△503,851
現金及び現金同等物の期首残高	6,568,050	5,534,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,245,781	5,030,580

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	6,145,635	2,971,440	9,117,076	—	9,117,076
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,145,635	2,971,440	9,117,076	—	9,117,076
セグメント利益	291,444	556,298	847,743	△254,921	592,821

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△254,921千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
7,090,644	673,368	335,337	172,173	845,553	9,117,076

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,964,804	2,852,711	6,817,515	—	6,817,515
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,964,804	2,852,711	6,817,515	—	6,817,515
セグメント利益又は損失(△)	△119,964	382,440	262,476	△259,204	3,271

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△259,204千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「機械」セグメントにおいて、固定資産に係る減損損失203千円を計上しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
5,329,792	770,638	235,980	210,217	270,887	6,817,515

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	6,518,694	108.9	5,311,232	81.5
化成品部門	392,246	177.2	329,297	84.0
合計	6,910,941	111.4	5,640,530	81.6

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	6,233,241	83.5	6,846,714	109.8
化成品部門	188,507	200.2	84,959	45.1
合計	6,421,748	84.9	6,931,674	107.9

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	6,145,635	67.4	3,964,804	58.2
化成品部門	2,971,440	32.6	2,852,711	41.8
合計	9,117,076	100.0	6,817,515	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。